



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

稲作の中で、一番水が必要な時期に近づいてきています。

【米作りにとって、水管理が命】

そろそろ中干し作業を終える時期に近づき、イネの栽培期間中で最も水が必要な時期を迎えます。

そのため、出穂した日を基準として前後7日間程度は、必ず水を確保できるように水管理に努めましょう！！



【稲作の水管理について、再確認しよう！！】

イネにとって水が

○いる時期 と △いらない時期

※稲作こよみも再確認！！

4月・5月
田植え時期

△あんまりいらない

7月
出穂時期
(出穂日の前後1週間)



△ 中干し後の入水(間断灌水)

湿润状態をキープできればOKです。

極端な「ため水」には注意しましょう！（根を傷めます）

梅雨の降雨で十分足りているので、降雨も利用しながら水管理しましょう。

4月・5月
田植え時期

田植え時期には、水が必要です。

湛水状態に水を溜めることで、田植え後の「強風」・「低温」からイネを守る役割があります。

また、除草剤の効果を高めるためには水が必要になります。

散布してから水をしっかりと止めることで、土壌の表面に「除草剤の処理層」が作られます。

田植え後の4月から5月には、雑草を抑えるためにも水管理が大切になります。



7月
出穂時期
(1週間)

イネにとって1番！！水が必要な時期は、出穂時期です。

6月下旬ごろには、イネの幼穂形成期になります。（中干し終了後頃）

中干し終了後の入水は、間断灌水や飽水管理の水管理です。

この頃に、ため水をしてしまうと逆に根が傷んでしまうことがあるので注意してください。

「出穂の日の前後7日間くらい」が、最も水が必要な時期になります。

イネの最も水を欲しがるところには、必ず水を確保できるようにしましょう！！

ちなみに・・・

出穂とは、圃場の40%～50%の穂が顔を出したら「出穂」になります。

穂揃い期とは違います。

